



北海道新時代 #03

北海道におけるスカイスポーツの 展開と「北海道スカイスポーツフェア イン鹿部」の開催

国土交通省北海道開発局開発計画課
(公社)北海道スカイスポーツ協会

北海道は、豊かな自然環境、さわやかな夏や雪・流水が見られる冬など温暖な地域とは異なった気候風土があり、こうした自然などがはぐくんだ個性ある景観や歴史・文化等はアジアの中でも特徴的で、魅力的な観光資源を有しています。

北海道の魅力的な観光資源の一つである広大で澄んだ空を活用して、グライダーや熱気球、パラグライダーなど様々な種類のスカイスポーツ活動が各地で活発に展開されています。北海道開発においても、スカイスポーツが北海道の活性化に寄与することから、その振興に取り組んできました。

また、毎年スカイスポーツが一堂に会する北海道スカイスポーツフェアが開催されており、今年は道南地域で初めて鹿部町で実施されます。

これを機会に、北海道におけるスカイスポーツの展開について紹介したいと思います。

北海道におけるスカイスポーツの展開

～増加する体験観光需要への対応～

道内各地において、様々な団体によるスカイスポーツの体験やイベントが行われています。

ニセコやルスツの後志地域、池田町や豊頃町の十勝地域など全道各地で行われているパラグライダー、夏も冬も楽しめる熱気球、美唄市のスカイダイビングなどスカイスポーツは、全道で多彩なプログラムが提供されています。

グライダーの体験搭乗を楽しめる滝川市においては、年々搭乗者数が増加し、平成26年度の体験搭乗者数は995人と過去最多を更新しています。平成25年度には、外国人観光客の搭乗者数は前年と比べて6倍まで急増するなど、海外からも注目を集めています。

スカイスポーツ体験が増えていることを踏まえ、スカイスポーツが盛んな滝川市、富良野市、ニセコ町、美唄市では、グライダー（滝川市）、モーターパラグ



テスト飛行を行っている「メーヴェ」(写真：滝川スカイパークHP)

ライダー（富良野市）、パラグライダー（ニセコ町）、スカイダイビング（美幌市）の共通パンフレットが制作されました。

そのほかにも、宮崎駿監督のアニメ映画「風の谷のナウシカ」に登場するカモメのような飛行具「メーヴェ」を東京芸術大学の八谷和彦准教授が設計・開発を進め、昨年には滝川市において、具現化した超軽量小型飛行機「メーヴェ」のテスト飛行を行うなど大きな話題となり、スカイスポーツ、航空ファンだけではなく、多くの人の関心を集めています。

平成2年には、北海道をスカイスポーツのメッカとすることを目指して北海道スカイスポーツ協会が設立されました。北海道スカイスポーツ協会は、北海道スカイスポーツフェアの開催をはじめ、啓発普及事業や安全対策事業等を積極的に実施し、北海道におけるスカイスポーツの進展に寄与してきたところです。

北海道総合開発とスカイスポーツ

～北海道の新しい魅力「空域資源」の活用～

空は航空交通のみならず、スポーツレクリエーションなど多様な活動を可能にする無限の領域です。この点に着目し、北海道開発においても、スカイスポーツの振興に取り組んできました。

昭和62年6月、北海道開発庁（現国土交通省）の主催で北海道スカイスポーツ懇談会が開催され、「スカイスポーツ等、空の余暇需要の拡大に対応して、空域資源の豊富な北海道において、ソフト・ハード両面にわたるフィールドを整備すべき」との提言が出されました。

同年9月には、北海道開発局長の提唱で道内外のスカイスポーツ関係者と産学官関係者をメンバーとするスカイスポーツネットワーク推進委員会が設置され、北海道をスカイスポーツのメッカとして育成すること



北海道バルーンフェスティバル（上士幌町）（写真：北海道スカイスポーツ協会提供）

などを目的とした「スカイスポーツネットワーク構想」が取りまとめられました。

さらに、昭和63年6月に閣議決定された「第5期北海道総合開発計画」において、「スカイスポーツ等のイベントの開催などにより、地域特性を生かした新しいスポーツレクリエーションのメッカの形成を進める」ことなどが明記され、これ以降現在に至るまで北海道総合開発推進の一環として、スカイスポーツの振興に取り組んできたところです。

スカイスポーツフェアの開催

～熱気球の体験をはじめデモ飛行と手作り教室～

スカイスポーツ愛好者が日ごろの活動を披露するお祭りがスカイスポーツフェアです。

北海道スカイスポーツフェアは、スカイスポーツの振興を通して地域の活性化を図ることを目指し、スカイスポーツの各種目を一堂に集め、見て、触れて、体験できる事業として企画され、開催地域のイベントと連携を図りながら開催されています。熱気球の体験をはじめデモ飛行や手作り教室、模擬競技など、アマチュアをはじめ親子でも楽しめる空のお祭りです。

スカイスポーツフェアの歴史は、昭和63年7月に、スカイスポーツ推進連絡協議会主催により札幌市真駒内屋外競技場で第1回「スカイスポーツフェアオープニングイベント」が開催されたことから始まります。その後オープニングイベントは豊平川河川敷（スカイスポーツ振興協会主催）、前田森林公園（北海道スカイスポーツ協会主催）と続き、平成3年には北海道スカイスポーツ協会によって「北海道スカイスポーツフェスティバル美幌」として地名入りで開催され、以降札幌以外の地域で毎年実施されてきました。

今年の北海道スカイスポーツフェアは鹿部町での開催となり、北海道スカイスポーツフェア28年目で初の道南開催となります。

来年3月の北海道新幹線開通が近づき、道南各地域において様々なイベントが行われ、開通の気運が高まっていることに加え、整備された飛行場、駒ヶ岳と噴火湾を望むすばらしいロケーションが広がる鹿部町での開催は、広域から多くの方の参加が期待されます。

※「北海道スカイスポーツフェスティバル」の詳細は34ページをご覧ください。